

経済・経営	【代表的な研究テーマ】 □ ワルラスからシュンペーター、カーズナーへ ：経済学史からみたアントレプレナーシップ論
key word	課題解決に役立つシーズの説明
■ 企業者 ■ ワルラス ■ シュンペーター ■ カーズナー ■ イノベーション ■ アントレプレナーシップ ■ 創造的破壊	■ 企業者 entrepreneur の概念は、どのような思想的・歴史的背景をもって誕生したのか？ 私の専門分野である経済学史の観点から、その成立過程や論争、発展の歴史を考察することにより、現代のアントレプレナーシップが直面する問題に、新たな解決のヒントを示すことができると考えています。 ■ 私は、現代経済学の基礎を築いたフランスの経済学者 レオン・ワルラス(1834-1910) の経済学の解明に長年とりくんできました。国際的な研究活動を積極的に行い、多くの研究業績を日本語、英語、フランス語で発表しています。スイスを拠点とする「国際ワルラス学会」(AIW)の会長もつとめています。 ■ 現代のイノベーション論、アントレプレナーシップ論の元祖とされるシュンペーター(1883-1950)が最も大きな影響を受けた経済学者は、ワルラスです。実は、企業者 entrepreneur は、フランスで誕生した概念であり、ワルラスが登場する以前のフランスには、J.B. セーやカンティロンなど、独特の企業者論を展開した経済学者たちがいました。シュンペーターはこれらの経済学者たちからも影響を受けています。また現代の経営学で注目されるシュンペーターとカーズナー (1930-)の対比についても、歴史的・思想的背景に注目することによって、新たな意義を見出すことができます。 ■ 研究の概要は次の論文をご覧ください。 (招待論文)御崎加代子「ワルラスからシュンペーターへ—アントレプレナーシップの歴史的・思想的背景—」『組織科学』第56巻2号(2022年12月)pp.4-14.
	
御崎 加代子 Kayoko Misaki	
経済学部 教授	
【プロフィール】 ●専門分野： 経済学史 研究テーマ：ワルラスの経済思想 ●略歴 ・経済学修士(一橋大学) ・経済学博士(京都大学) 一橋大学経済学部助手、山形大学人文学部助教授、滋賀大学経済学部助教授などを経て、2003 年より滋賀大学経済学部教授(現在に至る) ●所属学会 ・経済学史学会(日本) ・国際ワルラス学会(AIW) ・European Society for the History of Economic Thought (ESHET) ●最新の研究業績・研究活動は、 https://kayokomisaki.com/ をご覧ください。	フランスにおけるentrepreneur概念の誕生と発展 カンティロン (1680-1734) J.B.セー (1767-1832) ↓ ワルラスにおけるentrepreneur 企業者利潤ゼロ 企業者国家論 ↓ シュンペーター vs. カーズナー 均衡を破壊する entrepreneur(創造的破壊) 均衡をもたらす entrepreneur
	企業・自治体へのメッセージ 企業者、アントレプレナーシップ、イノベーション概念の歴史に関するレクチャー等、担当可能です。 (例) (招待講演)「シュンペーターとイノベーション：その歴史的・思想的背景」日本ベンチャー学会(JASVE)第24回全国大会(2021年12月5日 大阪経済大学)